

2007 年度第 5 回教育研究審議会議事要録

日 時 2007 年 6 月 14 日 (木) 13 時 30 分～15 時 15 分
場 所 学術センター3 階会議室
出 席 者 坂本学長、米田理事、植田理事、古田理事、森教授、濱田教授、
下田教授、道盛教授、中嶋准教授、丹下教授、西戸准教授、加来准教授、
関野准教授

配布資料 1. 公立大学法人下関市立大学中期目標(案)・中期計画(案)・平成 19
年度計画(案)
2. 下関市立大学客員研究員規程(案)
3. 教員の公募について
4. 公立大学法人下関市立大学科学研究費補助金事務取扱要領
5. 本学における調査研究と地域とかかわる業務について

議題及び審議状況

- 1 中期計画(案)・年度計画(案)について
 - ・ 配布資料 1 に基づき事務局説明。次いで米田理事員が前回からの変更箇所を説明した。
 - ・ 一部字句の修正を行うこととし、中期目標が提示のもので可決されるという前提で、全体としては承認された。
- 2 下関市立大学客員研究員規程(案)について
 - ・ 配布資料 2 に基づき事務局説明
 - ・ 外国語での申請書のフォームが必要という意見に対し、作成するとすれば英語までではないかと意見が出された。
 - ・ 概要(1 年以内、研究費は支給されない、施設使用可)についても、世話役の教員がいるので、当面はその教員を通じて説明してもらう。
 - ・ 内地留学も「共同研究」としてこの規程で受け入れる。
- 3 教員採用方針について
 - ・ 配布資料 3 に基づき事務局が概要説明。学長から補足説明がなされた。
 - ・ 教員の割愛について了承した(オープンにするのは教授会后)
 - ・ 国際商学科関係の人事については、割愛により学科会議の検討の前提が変わったので、再度検討を行い、次回以降の人事に反映していく。
 - ・ 教員採用については、(1)教育研究審議会に提案後、(2)教授会の意見を聴いて、(3)教育研究審議会で決定し、(4)教授会に審査を付託するという手続き

をとるが、このたびは、後任人事であることも考慮し、(2)の教授会で異論がなければ、そのまま付託（(4)）することを確認し、次回の審議会で教授会での状況について報告を求めることとした。

4 新学科設立準備委員会の開催について（報告）

- ・ 学長から進捗状況について報告がなされ、委員が意見交換をした。
- ・ 「東アジア」より「経営」的なものがよい。名称は、オーソドックスなものより、特色のあるものがよい。
- ・ 特徴をアピールするのであれば、東アジアを看板に掲げたほうがよい。
- ・ 国際東アジア学科も含めて検討してほしい。
- ・ 新学科は「国際志向」か「地域志向」か、慎重かつ重点的に検討してほしい。
- ・ 新学科に伴う管理棟の建替え等を考慮すれば、学科の内容を早く決め、設置者に対してもアピールする必要がある。
- ・ 競争相手の情報を集める必要がある。
- ・ 中期計画記載の文言との関係は問題ないか。

5 その他

- ・ 植田理事から「科学研究費補助金事務取扱要領」について報告がなされた。
- ・ 学長から本学における調査研究と地域とかかわる業務について概略の説明がなされた。
- ・ 次回は7月12日(木)13時30分から 教員採用方針等について審議を行う。